

令和5年度上越市・妙高市在宅医療・介護連携推進協議会

第2回対人支援スキルアップ部会を開催しました

○10月23日（月）に第2回対人支援スキルアップ部会を開催しました。参加者は、部会メンバー7人、上越地域在宅医療推進センター1人と事務局4人の12人でした。対人支援スキルアップ研修会の振り返りから今後の活動について話し合いました。

○今回の議題

- (1) 9月20日（水）に開催した対人支援スキルアップ研修会の報告
- (2) 今後の活動について

○部会での検討事項等

- (1) 対人支援スキルアップ研修会の報告



- 部会の委員が中心となり開催した9月20日（水）の対人支援スキルアップ研修会では、在宅医療・介護連携推進協議会専門部会の委員18人の参加がありました。
- 当日は、医師、歯科医師、理学療法士、介護支援専門員、看護師、精神保健福祉士等と多職種の参加があり、グループワークでは様々な視点からの意見交換ができました。
- 研修プログラムで取り上げたような事例に関わる職種は関心が高く、意見が出しやすかった。一方で、こうした事例に関わることの少ない専門職には、研修の目

的を理解してもらうことが難しかったため、研修の主旨や目的を理解して参加できるような説明内容等について、今後検討する予定です。

(2) 今後の活動について

- 部会の目標をふまえた上で、研修プログラムの活用が広まるよう職能団体での研修会の開催を計画していきます。
- 引き続き、部会内で認知機能や意識レベルの低下によって意思を確認できない状態の人等を含めた事例検討で学びを深め、最終的にはACP（Advance Care Planning：将来の変化に備え、将来の医療及びケアについて、本人を主体に、そのご家族や近い人、医療・ケアチームが、繰り返し話し合いを行い、本人による意思決定を支援する取組）の支援について検討を行っていきます。
- 活動の評価方法については、アンケートの他に研修を受けた人に聞き取りを行うことなども検討していきます。

○ 今後のスケジュール

次回は2月頃、事例検討と3年後の具体的な目標・評価指標について協議していく予定です。